

うちゅっ子

第21号 発行日:2024年3月10日 湘南台地区青少年育成協力会(事務局:湘南台市民センター 電話0466-45-1600)

令和5年度の青少協事業は、新型コロナの収束により制約や制限が解除されて、本来の活動を進めることが出来ました。今年度はコロナ禍の経験から従来の事業を見直し、次年度に繋がる新たな事業を実施しました。夏休み友情体験で八ヶ岳野外体験教室に宿泊、横浜へのWAKUWAKUさんぼなどの事業を含め、次年度はより充実した活動となることを、役員一同で期待しています。

また、今年度は小中学生を持つ保護者の方々に青少協役員や事業推進役を引き受けて頂きました。さらに慶應大学や湘南台高校の学生さんに支援を頂きました。こうした保護者の皆さんや学生さんの参加が、今年の活動では大きな力となりました。ご協力に感謝しつつ、次年度もご支援を期待しています。

湘南台地域の子どもたちの健全な育成を目指し、子どもたちを元気にする事業を学校や地域の皆さんと一緒に進めていきたいと思えます。新年度も、皆様のご支援とご協力を宜しくお願いいたします。

青少年育成協力会 役員一同



学校・PTAとの交流会

第1回 2023年6月3日(土)14時~15時
第2回 2024年2月3日(土)14時~16時
湘南台市民センター ホール



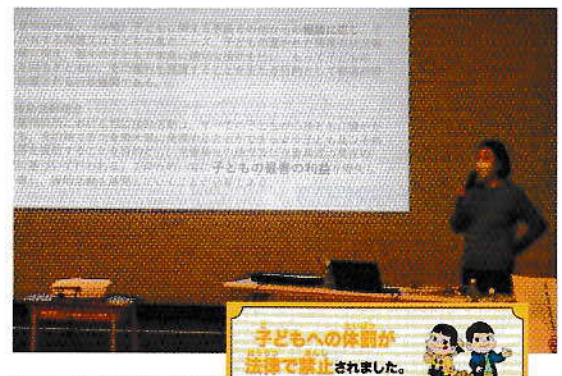
交流会は年度初めと年度末頃に開催され、湘南台小、六会小、湘南台中、湘南台高、青少年指導員、子どもの家運営委員、民生委員児童委員の皆さんと、子どもたちに関する取り組み状況を交流しています。第1回は今年度の活動計画を、第2回では活動報告と課題を報告して頂き、活動状況や課題を共有しました。

また、第2回では外部講師による講演会を行いました。「子ども時代の体験とその影響」と題し、神奈川県中央児童相談所の稲葉さんに講演を頂きました。現状を踏まえた講演は貴重な学びの機会となりました。概要を次に記します。

「児童相談所への相談件数では非行相談は減少し、虐待通報や発達障害の相談が増えました。児童虐待の相談件数が過半数を占め、虐待内容では心理的虐待が6割以上です。児童虐待は子どもの『こころのケガ』となりやすく、『生きる上で欠かせない安心や安全が守られていない環境』の体験=逆境的小児期体験(ACE)が多いほど心身の健康や社会適応に影響が大きく、犯罪白書等でもこの影響が確認されています。

こうした体験に対して、子ども時代にポジティブな体験(PCE)が多いほど、心身の健康と社会適応に良い影響があると判明しています。子どもが家族に自分の気持ちを話せる、家族が支えてくれると感じた、地域行事が楽しかった、学校に居場所があった、親以外に少なくとも2人の大人が自分のことを気にかけてくれた等が大切なポジティブな体験です。参加者の皆さんの活動はポジティブ体験に繋がっています。」

日頃の青少協や地域の活動に大きなエールを頂いた幸いです。



← 児童に配布されている啓発カード

親子ふれあい農園

①2023年5月20日(土)苗植え ②8月19日(土)つる返し
③10月21日(土)収穫祭



毎年ご好評を頂いております親子ふれあい農園。今年も抽選で選ばれたご家族と共に、5月にはサツマイモの苗を植え付けました。

8月には暑い中、熱中症に気を付けながらなるべく短時間での作業を心掛けながら、つる返しと草取りを行いました。

10月には待ちに待った収穫です。子どもたちもサツマイモが途中で折れてしまわないように慎重に手を動かしたり、自分の顔より大きなサツマイモを掘り当てて歓声を上げたりと目を輝かせておりました。サツマイモは参加者の皆さんにお配りし、とても喜んで頂けました。また来年度も親子ふれあい農園へのたくさんのお申し込みをお待ちしております。

最後に、農地をお貸し頂いている諏訪さん、農作業のサポートを頂いている石井さん、青少協事業をご支援頂きありがとうございます。



夏休み友情体験

2023年8月1日(火)9時~8月2日(水)15時30分
藤沢市八ヶ岳野外体験教室



湘南台小と六会小の5年生6年生で、藤沢市八ヶ岳野外体験教室に一泊二日で行って来ました。9時にバスで出発。平沢峠で記念撮影、獅子岩付近の自由散策を楽しみました。体験教室では、夕食前には自然観察として敷地内の杣添川で遊びました。水が冷たくとてもきれいで、時間ぎりぎりまで大はしゃぎでした。

夕刻から雷雨となり、キャンプファイアは体育館でのキャンドルファイアに変更しました。キャンドル点火では火の神登場で盛り上がり、ダンスやクイズでは賑やかに笑い、楽しい思い出を作ることが出来ました。

翌朝は森の中でのラジオ体操でマイナスイオンを浴びてから、一日をスタートしました。清泉寮ファームでは広い草原を走り回ったり、足湯につかったりと自然を満喫していました。センターには3時過ぎに帰着しました。

参加した子どもたちの感想は、「また来たい」「出来れば2泊したい」等がほとんどでした。



愛のパトロール

①2023年7月18日(火) ②8月8日(火) ③8月22日(火)
19時30分~20時30分 ※③は雨天のため中止



夏休みの楽しい時期、子どもたちが思わぬ事故や事件に遭わないために、夜間のパトロールを行っています。コロナ禍の間は規模を縮小して実施していましたが、今年度は各自治会の青少年部長や藤沢北警察署の方々にもご参加いただき実施することができました。

湘南台駅周辺、湘南台中学校方面、湘南台4丁目方面、桐ヶ谷公園方面を手分けしてパトロールしました。児童や生徒がたむろするなどの光景をみることもなく、平穏な街が維持できていることが確認できました。

ただ、季節柄、伸びた木々が街灯を隠し暗がりになっている歩道や、ゴミが散乱している地下道もあり、更なる改善点も見出すことができました。

子どもたちにとって安心安全な街を維持できるよう、今後もパトロールを続けていきたいと思っております。



湘南台まつり

2023年10月14日(土)9時50分～16時
10月15日(日)12時～15時 ※雨天にて午後より実施



コロナ前の賑やかさが戻ってきた今年度の湘南台まつり。青少協では「お楽しみすくい」「当てくじ」「ヨーヨー釣り」を出店しました。「お楽しみすくい」は金魚すくいを使用する「ポイ」でスーパーボールや人形をすくう遊びです。

子どもたちはここぞとばかりの集中力で真剣に挑み、入れ物からあふれる程の人形をとって見せてくれる子や、欲しいものがとれてジャンプして喜んでくれる子、何度も挑戦して



くれる子もいて、キラキラした笑顔をたくさん見ることができました。また子どもたちを微笑ましく見守る保護者の方々もとても印象的でした。2日目は雨で午後からの開催となりましたが、沢山の方にご来場頂き、大盛況で終わる事が出来ました。また、慶應大学の方々に応援していただき大変助かりました。このような笑顔と活気あふれるおまつりが、来年以降もできる事を祈ります。



WAKUWAKUさんぽ

2023年11月12日(日)9時～15時30分
横浜 桜木町周辺



昨年好評だった「江ノ島さんぽ」。今年は第2弾として藤沢を飛び出し、横浜に行ってきました。参加者は4年生以上の小学生です。まず、地下鉄で桜木町まで行きました。最初の訪問は野毛山動物園でした。広い園内を巡りながら、動物達との出会いを楽しみました。園内で昼食を取るころには、はじめは緊張気味の子どもたちも盛んにおしゃべりをするようになっていました。広い空の下だと会話も弾むようです。

次は桜木町駅から市バス「赤い靴号」に乗って赤レンガ倉庫まで行き、海上保安庁資料館と横浜税関資料展示室を見学しました。参加者は、展示されていた実物の工作船や武器に驚き、真剣な表情で見学していました。

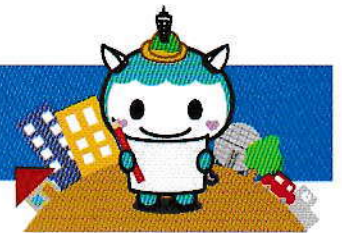
参加した子どもたちは、安全・安心な社会を実現するために働いている様々な人々がいることを知ったと思います。

子どもたちへのアンケートでは、参加者全員が「楽しかった」という感想でした。



青少協研修会

2024年2月8日(木)9時～16時
久里浜少年院



2月の研修会は久里浜少年院を訪問しました。始めに次長さんから久里浜少年院の歴史と現状、国内の少年院の仕組みや円滑な社会復帰を図る取り組み等について丁寧な説明を頂きました。

現在の久里浜少年院の在院者は18歳から19歳が大半で、外国人等の在院者は減少していると伺いました。今は生活指導を重点に置いて、社会復帰支援のために在院生の就学支援や就労支援を進めているそうです。

在院生は個室で暮らし、部屋替えが定期的にあることも紹介されました。その後に施設内を案内して頂き、作陶室や焼き物等の展示作品、ワープロ技術を高める為のPC室、過去の施設や指導風景や給食等の写真展示等を見学しました。

見学後の懇談では、学校や社会が在院者を排除すること、危険なイメージを持つようなことは、在院者の社会復帰は改善されない。社会全体が多様性を大切にすることが重要だと、次長さんの熱い思いが語られました。



青少年指導員の活動について



青少年指導員は、子どもたちの健全育成と非行防止を目的に活動しております。今年度5月よりコロナが5類へと移行し、色々な行事が制限なしとして再開出来るようになり、我々も胸を撫で下ろしています。

月に2回、下校・帰宅時に合わせて通学路、公園、駅地下、商業施設などをパトロールしています。マスクから解放され、伸び伸びと元気に走り回る子どもたち、その明るい笑顔を守り、楽しい体験をたくさん重ねてもらえるよう、これからも活動を続けていきたいと思っております。今後とも皆様のあたたかいご協力をよろしくお願い致します。



青少年育成協力会の構成

● 事業の決定

- ・役員：6名
- ・青少年指導員：16名
- ・湘南台小、六会小、湘南台中、湘南台高 各学校長 および各PTA等：18名
- ・子どもの家運営委員長
- ・自治会青少年部長：33名
- ・主任児童委員等：4名

総会・推進会議

<事業の実施>

役員会

● 総括（役員）

- ・会長：1名
- ・副会長：2名
- ・会計：1名
- ・監事：2名

企画部会

● 各事業の決定

- ・役員：6名
- ・自治会青少年部長：2名
- ・青少年指導員：6名
- ・PTA等：6名
(湘小、六小、湘中 各2名)

令和5年度事業一覧

(1) 健全育成事業

- 親子ふれあい農園（5月、8月、10月）
- 夏休み友情体験（8月）
- WAKUWAKUさんぽ（11月）

(2) 非行防止事業

- 愛のパトロール（7月～8月 3回）

(3) 参加協力事業

- 湘南台まつり（10月14、15日）
- 湘南台ファンタジア（10月28、29日）

(4) 広報誌「うちゅっ子」刊行（3月・21号）

● 会合

- 総会 年間1回（5月13日）
- 役員会 年間10回
(4月、5月、6月、9月(2回)、10月、11月(2回)、1月、3月)
- 企画部会 年間8回
(4月、5月、6月、9月、10月、11月、1月、3月)
- 推進会議 年間3回
(5月13日、9月28日、1月25日)
- 学校・PTAとの交流会 年間2回
(6月3日、2月3日)

企画部会

青少年協が携わる事業等の企画、運営等を行っています。

(青少協役員)	北村 順子	木村 静代	伊藤 麻衣
	黒葛原 隆	落合 英雄	山本 さやか
(青少年部長)	岩井 梓		
(青少年指導員)	長尾 清子	井上 美恵子	
	神山 節子	小宮山 典子	
(小中学校PTA等)	湘南台小学校：青木 かほり	内島 清美	
	六会小学校：鈴木 奈美	守谷 里也子	
	湘南台中学校：小寺 友子	神山 礼	
(事務局)	湘南台市民センター		
	伊藤 雅浩	岩田 守	野村 啓三
			大槻 祐太

